

# 施政周知記急號

## 京城日報

### 周知運動施行に際して

特に一般民衆に望む

政務總監 水野錬太郎氏談

#### 言論出版等

朝鮮統治の主眼者



#### 地方制度

#### 教育及其將來

今日の成績は奮然と前進

#### 迷へる同胞

#### 今日より眼醒め

#### 頼らざる可く

#### 大塚内務局長談

#### 憲法

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印

#### 清水

#### 五博士七

#### 曹大家監修

#### 價格は低廉無比

#### イ印









紅 じ要



可丰家ノ頃綿

呈 書

[illegible]







上野城地方法院で伊東裁判長から  
 王國若萬之助は監禁五年和一同  
 之助も拘禁されたが、これに不満を  
 持つ十五日取上服罪した  
**姦通の罪**

あやう  
ふうくわう  
ろ

危い熔鑛爐

あやう  
ふうくわう  
ろ

製煉所職工十四日夜

深更から融鑛をやる

八清文化の要諦は世襲秀徳△脱  
炎・揺揺ヒトの歩村・通村女史△脱  
姿ロア△念永候氏

依頼ありければ本誌には直  
手書きを了したり

し此の要求にして容れられずんば同夜十一時の交代時を期  
 して坑夫組合の運動に参加し全部罷業とべく決議したるが  
 同時刻となるや工場より仕事を終り退去する職工あるも更  
 に坑に入るもの一人もなく遂に全部罷行せられたるを以て  
 之以て煙煤爐の火は全く消るゝに成り愈方々しき問題とな  
 りたり足尾電報

ひさん

# 悲惨な雑沓

十四日は米油の  
 支給なれば道過

其他の倉庫前には朝來坑夫の妻及家族族を招たるが會社前  
 側へられたる道に絶に對し悲憤の聲あるに省き

演説會  
 願る靜肅  
 下四日午後三時四十分東京より  
 前橋、小林の兩氏來り通過支部  
 ならんとする時  
 春劈頭の本社主催野遊  
 兩銀行運動會  
 行にては來る二十四日京城中

も丹も事だの思ひに思つて参りました。この前日、  
市内の各銀行へお出で参りまして、お金の  
四日の日曜日に於いて京城の人々は花と酒さ  
奉勞殿の催しで實に京城に於ける第一番の催し  
れてます。本町ではもう十七日の日さ、皆様の  
お出で下さるの

泉樓心中後刻  
男は遂に死す

十四日町一丁の泉樓で、心中を圖つた大和町一の男と、流石寺の女。此日は日の出町一丁目三田川にて取り替へる手當付であらうが午後三時頃遂に死した上キハは右の如く振舞中。

西大門署の  
春季清潔法

遠征飛行  
 遠征飛行

大甲山郡分崎邊  
 光復前山  
 同郡同而中里  
 陸

オリンピック  
 競技大會集報  
 上設技大會は船かに一兩

運動會  
 豫會

主法親王  
 法親王  
 法親王

大甲山郡分崎邊  
 光復前山  
 同郡同而中里  
 陸

オリンピック  
 競技大會集報  
 上設技大會は船かに一兩

運動會  
 豫會

遠征飛行  
 遠征飛行

大甲山郡分崎邊  
 光復前山  
 同郡同而中里  
 陸

オリンピック  
 競技大會集報  
 上設技大會は船かに一兩

運動會  
 豫會

す、櫻の産盛りを見るのも  
はないが然し  
櫻は昔から  
三日月間の櫻かな實に  
たぎ差す、櫻の満開した  
は既に櫻の生命を失つて  
す、眞實に櫻を御覽にな  
らば三分乃至五分の未だ咲  
ぬは散りも初めのうた  
ふ可からざる櫻樹時間の間

に熱帯なきて  
内いたしまし  
の障りも五分  
ない花の  
事ゝ爲め人さ  
と勝の思ひも  
催す

既設遊園は、河に接する所を、遠くから来る風は、公園の山に遮られて風邪を代りに汗はむせう

涼風の追叩

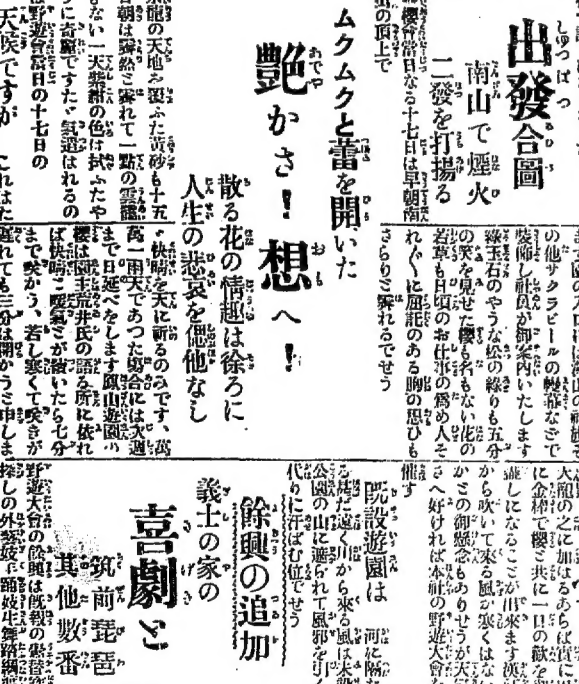
活用唱曲自在  
**秘訣**試聴す  
は、限らずに夫人  
目上の人から「夫  
下駄の轡に」  
のものつぎした  
師匠に  
カヘン  
海苔巻を

櫻の花も咲きました  
御花見には風味々々

大正九年九月十八日 豊岡商會

[illegible]

井上博士  
目藥  
卸專  
各種眼鏡  
大南藥房

[illegible][illegible][illegible]

*[The page contains faint, illegible markings and a large blacked-out area.]*

第三日  
十六日は、西園社、小林の兩氏來り通達。郵行にては来る。二十四日京城中學

はるやうや たけなほ

春漸く酣ならんとする時

おー今春劈頭の本社主催野遊

誰かよく春の日曜を乞しく家にこもりたがる人々も、花の下、人の里、静かなる漢江江に追る。

あゝ一日に迫る。鳳山遊園野遊會

本社主催の鳳山遊園野遊會はいよいよ廣告の通り雨天でない限り来る十七日(銀行休業)に於ては、大抵の諸君が出席せられて、この前日の雨で、外です春の日の行樂はこれからです。新倉の各銀行會社、協会で参りました。春の野遊會は、鳳山の遊園野遊大會は、既に今春開演の催しで實に京城に於ける第一客の催しであります。本社の催しであります。

萬の人物人何れも驚きの目を睜はれり（第四特寫）

出發合圖の 櫻花を打

ち揚げます、櫻娘からお出でにな  
な侍はは新龍山行きの電車から  
舞一文字（乗替なしに終點迄）  
直通電車へ降り下り参りの喜みの  
て來、柳の並木道を過つて渡江  
の人道橋へかゝります、渡江一帯  
は、既に清徹とした水がゆるやかに  
流れて

遙かの彼岸 には野郎  
が盛んか遊んでゐるのを見なが  
ら目の前には嵐山遊園が春を迎へ  
て咲やかに桜さんを待つてゐる

野遊大會の 催しは

す、櫻の實盛りを見るのも悪く  
はないが然し  
櫻は昔から 申しま  
三日見聞の櫻が寛に穿  
たは舞です、櫻の満開したま  
は既に櫻の生命を失つてゐる  
です、實に櫻を無駄になる  
ば三分乃至五分の未だ咲き  
舞はす散りも初めすと言ふ、  
ふかからる極短時間の間の  
見聞と申さねばなりません  
の意味から本誌

京城日報社仁川支局  
 シマズイ

小瓶 二角  
中瓶 三角  
大瓶 四角


日本安民藥房



点眼藥

目藥

タマヌ  
井上博子



各種眼鏡  
大坂市南區橋南

定價表推  
卸專

郵券 錢窓 振替 二一五

主 石 岡 二 郎 本 甘 菜

に於ける 〓  
 の最相を撮影したもので之  
 監督がら各道の大慶さし  
 静の通りであらるが此の外數  
 なりてゐる

〓  
 町筋に入り三丁目と二丁目  
 日と通過し午後三時該隊手  
 各するや朝鮮樂隊は一齊に吹  
 して之を運へ午後三時より  
 在る各地の 布教師の  
 致し各道の大慶として日蓮宗皇  
 教の各道の大慶といふ趣き  
 非常の盛況であつた

ひさん  
 なれり足尾報

悲慘な難香

つたふ  
 十四日米炭油の  
 支給日なれば通洞  
 其他の倉庫前には朝米坑夫の妻女及び家族連れたるが、  
 側に傳へられたる傳道社社に群して非難の聲を上げ、  
 米一日一人七合家族三合五丁の割合にて日分を支給  
 し尚ほ、前者の家族には十八日迄現金にて賄賂を爲すこ  
 せ、なれり足尾報也

城崎座の  
 のせつくりい

演説會

頗る靜肅

より瑣まりたる坑夫一千名は、直に同夜の講演會場にて、崎座に臨み六時より講演を聞きたるが會費頗る菲薄七時半無事散會せし足尾報也

町根子運動會 町根子運動會

[illegible][illegible][illegible]

三ノ 路の廣也廣也 也廣也廣 廣也廣也 六ノ

イラム」を ◆ ◆

活動部を見られておら  
方針、新政の状況等を略述  
財政部、商工部、米穀部に  
て配付して、最も有効に利用  
英書活動部は前述の如く  
月の魔力の爲に製作された  
たの給養書を配ることにな  
たの附近の光榮富士山

朝鮮及び間島事情の中か  
る者で更に道に依つては

此活動部を爲す筈である、此活動  
月分は、人々に公開し得る極旨  
の文化の全圖に上つて、

△脱走八太郎の曲佐藤山民  
△海潮文化の要諦藤田秀樹△脱  
△櫻井哲士の上の村村野女史△脱  
△アノ金永義氏

あやう、  
ようくわ、ろ  
手帳を丁したり

危い熔鑄爐

製煉所職工十四日夜  
深更から總罷業をやる


足尾銅山製煉所の坑夫一同は十四日午後三時大會を開き、今  
後總罷業に就て協議した結果、總罷一一致し、會社に對する  
八階級の要求條件を可決し、十四日午後十時會社に對する  
此の要求にして、客れしんば、同夜十一時の交代時を期  
して、抗夫組合の運動に參加し、全部罷業するべし、總罷たるが  
同時刻となるや、工場より仕事を終り退去する職工あるも、更

開演すべしと  
兩班になる  
辭令書偽造  
夢を見るやう  
な頼みもの  
八幡川上里の五八四番衆朝敵觀  
しるの兩名は本番五月十二日  
頃より同月十三日頃迄の間  
に前記候補が於て  
光復團を潰滅す  
が獨立し、獨逸に中絶の地位  
を得るものなるを以て此際速に  
に購入し、皆べし、乃に欺き、前  
記上成川面上里女學に一枚を  
金三五十錢にて同里上女洗に  
二枚を五圓にて同里下女洗に  
安是哉、健自の三名に各  
一枚を五圓、宛にて送  
却せる事、宛此兩名共檢案さ  
るゝに、至りたるを取、朝敵の疑案  
欺犯人として、昨、昨、共六  
日前、警事局送せられたり

泉樓心中後報  
男は遂に死亡  
十四日、新町泉樓、市中を闊つ  
大和町の一、洗禮式武藝場  
に、昨日の用、一三田ツネ  
に、取り寄、密の手當であつ  
た、午後一時、遂に死亡した、角  
上ツネは、引き續、密室中

西大門署の  
春季清潔法  
廿五日から  
西大門署では、左記の期を以て  
春季清潔法を施行する、山、山、山  
の際には、数日の、水、に、續下で

[illegible]



お茶の味  
お茶の味  
お茶の味

お茶の味  
お茶の味  
お茶の味

お茶の味  
お茶の味  
お茶の味

お茶の味  
お茶の味  
お茶の味

お茶の味  
お茶の味  
お茶の味

お茶の味  
お茶の味  
お茶の味


三才圖會 卷之四 雜考

同人より萬二千五百圓を寄  
 つて内二千五百圓を總之助が  
 地方に持参し  
 大隈を輔けたが、遂に敗れ、  
 京城地方に監獄で伊東義親に  
 主顧者萬之助は寛政五年和  
 同  
 義通の罪  
 尹氏の寄附  
 忠南  
 光石面新堂里若木氏は角田  
 氏同  
 山町高等女學校で記念大講演  
 が開催される。第で左の如き題  
 がつけらる。

[illegible]

兩人共闘り、語の意氣充分に認め、万端興奮。○三、其筋に訴へて、結果、森田の事實が、午後九時半、櫻明し之亦刑死。遂に百八十三條により、獄吏目がかく

戦





第一五六席 小金井 芳沙 讀

不似合な武藝を好みますので幼少の頃からしつこくかして武藝に著になりました。武士になりたいと言ふのが當分の希望なんでございませう。成程、お母さんで丁期のお望み通りに、朝令身振いな者でも、一人は持てゐるよせね。お義父様といふ下で唄てのてい武士と言ふ者はございませう。思ひます。市アム……

[illegible][illegible]

**仁川金融**

米穀出賣場の盛況があるに至るに至れるが、財閥なる以て、  
るや、千石を千石と雖も、其の利益は倍ならずして、更に手  
が山やうに旺である。河津所うして御世間の様子、庭先の▼七赤▲都合よき日有力な後、  
の方には借付があつて、泰人金銀、諸事業に心持好く、恩はを得べく旅行開店求職歸郷等々

第三回 遂附十二  
 〇福濟善堂是治癩病と  
 〇梅毒王藥は驅毒内服藥と  
 〇響葉聖上最有効と決定じ  
 〇水書不盟 〇南大書院 〇病  
 〇折鶴 〇百圓 〇進兵

●福濟善堂は治癒劑とし  
海毒王漿は腫瘍内服藥と  
し驚業學上最有効と決定し  
て大醫學博士有田音松  
院長の監修で發行せらる  
るを保證す茲に前述の証  
言に基いて本報を發賣する時は  
分拆料百圓進呈  
●あらゆる治療をせずとも効不  
き患病は共に角一屢次請ふ此  
書東京 有田音松  
大隈 有田音松  
東京日本橋通町二丁目  
大阪心齋橋筋本町  
發賣所 有田音松  
京都南大門外電車道  
發賣所 有田音松  
東京丸の内區神樂坂  
全線十字街  
龍山三角廣場  
釜山辨天町二丁目  
鮮山東榮町  
本海榮町  
元山本町二丁目  
平壤郵便本局前  
鎮南浦三和町  
仁川宮町二丁目  
大邱弓町停車場通  
咸興本町二丁目  
晉州大安洞  
安東御西茶通五丁目  
長春神町五日六  
寧天松島町  
撫順高砂町二  
大連代代路城町角  
發賣所 有田音松

水すゐ顔かお美び色しよ白はく



學校のこでは  
負けなけれど  
お化粧ちや駄目と  
思ひのお嬢さん  
白色美顔水で  
何の苦もなく  
忽ち清楚なお化粧顔  
……喜び到る日

身  
衣  
いとしや

可憂坊やに手が懸り  
身咄も自然破そか  
夫は何と思ふやらど  
心配のお奥さま  
白色美顔水で  
手間暇いらすに  
忽ち艶なお化粧顔  
……喜び到る日

青春  
いとしや

人生の春……人の花  
誰も美しい青春に  
皮膚の工合で  
毎も化粧の此の  
醜さは日との絶望が  
白色美顔水で  
忽ち美しいお化粧顔

肌色は  
色は  
美顔水  
だいろ  
いの  
美肌の  
顔水姉  
が妹の  
ん品  
する

痔疾專門  
京城久枝肛門病院  
常設明治町  
丁百四十一番

內科  
腸胃病科  
診察時間九時  
石川醫院  
京坂本町一丁目  
電話 二三九〇番

●蠶繭買入龍山今組代理店  
金物、荒物、食料品、文房具、紙類、其他日用品、鮮人向日用品、一切

◎薪炭販賣 品質好良、目方正確

株式會社中村組農林部製品改良木炭及薪一手販賣店

仁川 新町 津田兄弟商店本店  
電話 七六二番  
振替口座振替 八九九番

東京 町堂丁目 津田兄弟商店  
電話 二五五番  
振替口座振替 三八二番

胃腸病  
 奉天通海  
 電話二一九〇番  
 株式會社中村組農林部製品改良木炭及薪一手販賣店



[illegible][illegible]

國云々は其の積金を以て爲す所あるのみ昨年秋に於て  
 支那に待てど方得ないが種々の共計開出費に同收帳に載る  
 支拂の項の由なるが從從と雖も其のより自然な支拂に當  
 たり平均二千兩以上の口付を商號減少さるべき、其の他出金  
 の細目とせられたる上は關係に匪淺なる營業資金に充當さるものな  
 り品を多分支拂に待てず其なる一濟資金に充當さるものな  
 り  
 支拂に待てず其の積金を以て爲す所あるのみ昨年秋に於て  
 支那に待てど方得ないが種々の共計開出費に同收帳に載る  
 支拂の項の由なるが從從と雖も其のより自然な支拂に當  
 たり平均二千兩以上の口付を商號減少さるべき、其の他出金  
 の細目とせられたる上は關係に匪淺なる營業資金に充當さるものな  
 り品を多分支拂に待てず其なる一濟資金に充當さるものな  
 り  
 支拂に待てず其の積金を以て爲す所あるのみ昨年秋に於て  
 支那に待てど方得ないが種々の共計開出費に同收帳に載る  
 支拂の項の由なるが從從と雖も其のより自然な支拂に當  
 たり平均二千兩以上の口付を商號減少さるべき、其の他出金  
 の細目とせられたる上は關係に匪淺なる營業資金に充當さるものな  
 り品を多分支拂に待てず其なる一濟資金に充當さるものな  
 り

[illegible][illegible][illegible]

見も差したるの影態にあるまじ  
と、内へ本敷に於ては支店開いた  
る。有民は頗る鶴嶽し十四日大に  
本敷の賑はるの影態にあるまじ  
と、内へ本敷に於ては支店開いた  
る。有民は頗る鶴嶽し十四日大に

美濃池俊吉  
○田根松  
三山三郎  
○長崎博士  
○長崎博士  
○長崎博士

鮮内國需要額  
○長崎博士  
○長崎博士  
○長崎博士

行山縣は頗る蘆薈なるものであ  
る。本敷に行くかと思へは大  
に、本敷に於ては支店開いた  
る。有民は頗る鶴嶽し十四日大に

翌日、觀立會法  
 京都府立府會の開市は、自國  
 の間に迫れるが、觀立會法は、  
 法に於ては、尙舊事、に於て、研  
 究に關し、十五日開辦せられたる  
 觀立會法は、  
 觀立會法の開市は、自國  
 の間に迫れるが、觀立會法は、  
 法に於ては、尙舊事、に於て、研  
 究に關し、十五日開辦せられたる  
 觀立會法は、

[illegible]

するも小數の手口にて之れを纏める事は餘程の困難も併ひ所造るを爲さざれば全部の引渡は不可なりと爲さんといふ愚念の引渡はマハラは然程迷ひを脱せずと抱合あるが爲め其の最早期に云ふべき十六日の前夜は決然血闘に迫りたる事、然れは鉄板本後發より火の出るやうな筒内に行はれるのさゝ火の如くに非ずやと、されば紅味の方が今一瞬間進み

[illegible]


**那須仲買店**  
 電話 五三三二七六  
 海産通三丁目 仲買入

白米 軟弱

白米大原産は神奈川二十五郡二千石を以て注文更に入りて市中に流通するに格別整りなしと雖人気が小強る一帯に於ては十匁安の二十三四七十七匁に於ては十匁(居行)

[illegible]

解雇  
金範中  
通稱 伊藤正義  
省都合ニ依リ本日所屬致候  
京坂株式會社買入

宗廟師 竹村幸次郎  
坂阪八云世西三番  
全國利本家陳有ニリ

最新最  
 流行  
 東京赤坂近衛歩兵三

短靴  
 刺  
 ゴム  
 底靴  
 底靴  
 ボックス綱上幕  
 陸軍豫備講習會

\_\_\_\_\_



第一一九回

德田秋聲  
第九回

「旦那は後輩でもうお慕ひになつてつゝしやるのよ、さう  
此方へお入り  
」  
「朝夕は五分秋らしくなつた。陽  
を浴びて、此處の内でも取り分け  
涼しい部屋になつてゐるお須磨  
の居間では、今夜は殊に涼しく  
て、團扇などは今は余りあつた。  
」  
「お菊は左様にだらしなく半々  
ながら、此頃味を覺へたらしい  
體感を喉に吐いてゐた。  
」  
「お菊が何か言つてゝゝゝゝお菊  
は疑く深い月色をして、生  
」  
「それにつて、何か聞かな  
」  
「「はあ、別殿」  
」  
「「屋敷さんが歸らないこと  
らし、おつてせんが、何か聞  
らしかつたでうね」  
」  
「そんな風はありません。か  
も心配して、それを僕は朝  
も心した」  
」  
「それで、小山は何言つてゐ  
」  
「別殿、それは、行先をなんぞ  
ならいつて、言つた、げなな  
」  
「さうさ、お菊殿は、然様  
」



森内小兒科病院

「は、叔母は何だか、これから  
道合へ行つて来るなんて言つて  
ゐましたつけ。當らず、騙らす  
まづつた調子に、小山は逆事を  
してゐた。」

「流石ヘア様やが？」お須磨は  
感心らしい大きな聲で、「こんな  
事をして可いか判らなくなくな  
なつた。さう聞くと、純子も」

「では有様に小山も、何  
となく、お須磨の言ふが儘に、彼女  
先のやうになつて、純子の  
ことばかりを注意せしめられ、  
それによつて、思ひつかへる

「それでは、お須磨へ嫁を少し乗出して、子守さんが此家を出さればね、後は親の天下も國戚なやうぢやね、お山にはいつかと言つた通り、さうなつたら私十分なしにしてあげる積りかな、何處でも私に頼むから。」

**新龍山角地西へ入る**

### 新龍山齒科醫院

東萊齒科醫士 廣瀬文質

の意見に従つて云つて、そんな悪いことをせざる譯ぢやないぢやね」

「それはもう、大層さまのことだ。」「は、はい。」

その件は何かとお須磨一人の仲間々を庭のやうに思はれて來た、梅子の胸が、時々中なからも思ひやうで、小山に心から氣の毒を感じて起すのであつた。

たうに言つて 鶴屋を吐いた。  
「聞いてくれろやまあ 嬉しむ」  
お須磨はそれから、小山を近  
づけて健勝をひくくと言つて  
つた。小山表情がいろいろに  
變化した。  
やがて、小山はお須磨の部屋  
から歸來されて、左衛門の自  
分の部屋へ歸つて來た。丁度小山  
が廊下へ出たのを、眞子を待  
つたお鶴の姿が、廊下を忍び  
込むやうに、鳥居の門をく  
ぐり外へ出るこゝろだった。

牧野正法堂  
皮膚花柳科  
院長  
永樂醫院  
今村純義  
東京本願寺  
電話一九四四

[illegible]

**川柳** 創花遊選  
秋の風 暖來坊  
よる目に<sup>○</sup>は尊主 秋の風に見ゆ<sup>○</sup>  
<sup>○</sup>紅牡丹<sup>○</sup>  
さきもらん<sup>○</sup>と<sup>○</sup>成り<sup>○</sup>の<sup>○</sup>赤丹<sup>○</sup>

新棋局戦

りちさへほにばらい

二八して陣張て有秋の風  
盤寶の指示のどに秋の風  
延擧ささいにまん多の風  
秋の風張は陣し指をさし

大田 俊文王  
京城 多の風  
東 多の風

一二三四五六七八九十

一三四五六七八九十

山平 松楯 段三

つそれなよかわなる

○六十一の二  
○六十二の五  
○六十三の五  
○六十四の初  
○六十五の初  
○六十六の初  
○六十七の初  
○六十八の初  
○六十九の初  
○七十の初  
○七十一の初  
○七十二の初  
○七十三の初  
○七十四の初  
○七十五の初  
○七十六の初  
○七十七の初  
○七十八の初  
○七十九の初  
○八十の初  
○八十一の初  
○八十二の初  
○八十三の初  
○八十四の初  
○八十五の初  
○八十六の初  
○八十七の初  
○八十八の初  
○八十九の初  
○九十の初  
○九十一の初  
○九十二の初  
○九十三の初  
○九十四の初  
○九十五の初  
○九十六の初  
○九十七の初  
○九十八の初  
○九十九の初  
○百の初

赤玉トワイ

圓  
る  
炭  
圓  
す  
す

特許  
完全  
火  
皿

好評湧か如し

●粉炭コークス亞炭でも使へる

る炭の節約  
定價 八七寸 焔爐用五十錢  
新領州眞砂町  
滿鮮一手特約  
三光社

●各地に特約店及代理店募集


三ノ宮

京城明治町三丁目

周易家相 岡村介石

紳士しんしの  
………家庭かていに此七博士しちはくし推獎すいけうの  
酒さけ味あじ滋養しやう葡萄酒ぶどうしゆ赤玉せきぎよくはと善良ぜんりやう  
なる飲料いんりやうは無なからうと偶しじま  
す其純まことな品質ひんしつが、いかに其家  
庭ていの卓上しやくじやうをまで純化じゆんかするかは  
識者ししやの必かならずず首肯しゆこんする處ところであり  
ます

隨入  
院  
丹  
山  
內  
科  
醫  
院  
信  
夫


  
**養蜂家の大福音**

自勵捕蜂器  
 新用度  
 四九三  
 願書  
 六四九

▲本器の特長分封前より巢門に据付け置けは蜂群の逃げるに俱れがないそうして自働的に分封蜂群を捕獲し得らるゝ構造は極めて輕便且堅牢にして永久使用に堪ゆること諸合なり

説明書は御申込次第送呈す  
 朝鮮半島五帶地

製造發賣元 吉田養蜂場

# コドモの

## すくなほる

五疳<sup>ごかん</sup>でも

虫<sup>むし</sup>氣<sup>き</sup>でも

失<sup>しつ</sup>神<sup>しん</sup>でも

ひきつけ<sup>ひきつけ</sup>でも

かぜ<sup>かぜ</sup>でも

夜泣<sup>よなき</sup>でも

童<sup>どう</sup>丸<sup>がん</sup>は

小兒<sup>せうに</sup>病<sup>びょう</sup>の

大博士<sup>だいだいし</sup>



定額 全十錠。五十錠。一圓。三圓。五圓

中將湯本舖  
東京大阪  
津村順天堂

代理店 山邑酒造株式會社 京都支店

京 城 明 治 町 二 丁 目

電 話 長 六 四 九 番 四 五 四 番  
 振 替 貯 金 口 座 京 城 七 五 五 番

油 醬 粉 ゲ ヒ

鑊子醬油株式會社釀造

鑊子醬油


達用御省內宮

人生の幸福

化粧料  
手輕な

和氣霽々たるは之れ

お顔の色艶も、いつしか春の庭に日の照る如く美しく芽に渡り家庭に春は來りて



愛用の賜なり

◀ 効 主 ▶

△お子御家の肥を丈夫にする  
△ヒダ剥後の刺ノ氣を防ぐ  
△白粉のノリノビを根絶くし  
△イキくした色艶を現す

政府到る處の小間物化粧品店専ら  
政因に販賣する品は諸君の  
三錢切手代用にて本鋪宛御注文を

大	中	小
定	價	價
四十五兩	二十八兩	十八兩
罐	罐	罐

堀越嘉太郎商店

東京市東區東一五六